

<アンケート回答数:65社中 28社回答 >

【1】御社についてお答えください

- ①道内店舗数
- ②店舗が所在する市町村の数

社名	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	J社
①道内店舗数	59	26	37	6	11	16	200	74	31	11
②市町村数	12	13	13	1	4	8	126	23	22	7

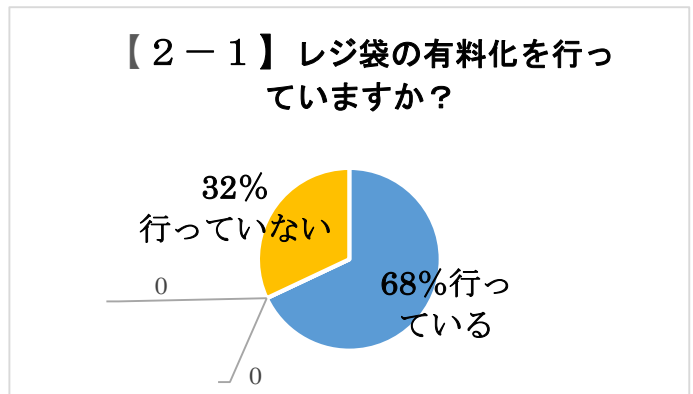
社名	K社	L社	M社	N社	O社	P社	Q社	R社	S社	T社
①道内店舗数	17	109	2	3	1	13	3	1	1	2
②市町村数	7	46	1	1	1	7	1	1	1	1

社名	U社	V社	W社	X社	Y社	Z社	AA社	AB社
①道内店舗数	2	3	71	149	2,815	1	1	2
②市町村数	2	1	0	56	?	1	1	1

【2-1】レジ袋の有料化を行っていますか？ 実施していない場合は理由を記入ください。

- ①全店でおこなっている 19
- ②一部店舗で行っている 0
- ③実施を予定している(いつ頃) 0
- ④行っていない 9

- ・顧客サービスの利便性、
- ・フランチャイズの為本部よりまだ指示がない
- ・日本フランチャイズチェーン協会のコンビニチェーン全体で統一をしているため
- ・百貨店協会として統一、
- ・CVSの業態特性及び消費者の購買動機等

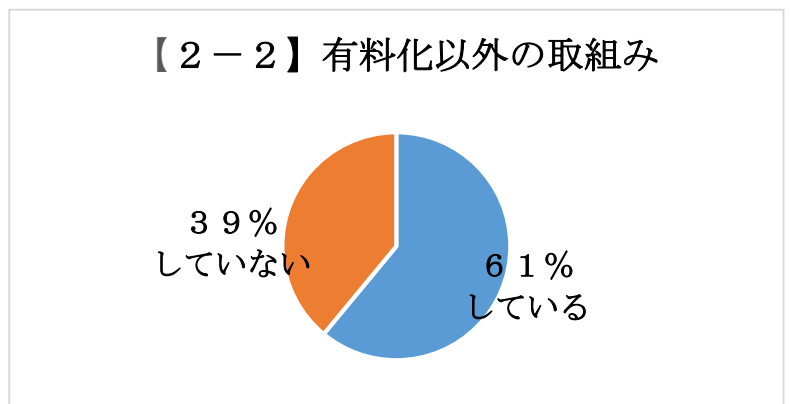


【2-2】御社ではレジ袋の削減について有料化以外の取り組みを行っていますか？

- ①している 17
- ②していない 11

\*している場合の具体的な取り組み

- ・マイバックの販売・店内放送での啓蒙
- ・お客様のデザインによるマイバック販売(どんぐりポイント付マイバスケット販売)
- ・ノベルティーとしてエコバックを配布。
- ・品出したダンボールの提供
- ・エコバック、マイかごの販売
- ・レジ袋代金は全額寄付=(みどりところの基金)
- ・ダンボールを用意しています。
- ・オリジナルエコバックの販売、ポスター掲示によるマイバック持参の啓発、従業員へマイバッグ持参の啓発



- ・スタンプカード
- ・自治体よりレジ袋削減に協力・対応している
- ・自店の月別レジ袋辞退率の店内掲示、店内放送、ポスター掲示での啓蒙
- ・マイバック持参運動、ハウスカードのポイント付与
- ・お客さまへの声掛けの実施、適正サイズのレジ袋の使用の徹底

**【2-3】有料化を含め、現在行っている取組の問題点をお聞かせください。**

- ・辞退率 2010 年度 87.4%、2013 年度 86.6%と少しずつではあるが辞退率が低下傾向である  
有料レジ袋(植物由来、売価 5 円)の原価が高騰し、収益金(=寄附金)が減少している。
- ・2008 年～取り組んでいるが、これ以上の削減は頭打ちのようである。
- ・ダンボールが無くなった時にクレームがある場合がある。
- ・お客様がどのサイズのレジ袋が必要か迷うことがある。
- ・店内備品(かご)の減少、持ち帰り
- ・利用者へのダンボールサービスの配慮によるメンテナンスの維持
- ・資材コストのアップによる自社負担増の問題を抱えているのと万引き防止策に悩まされています。
- ・万引きが増加している。
- ・レジ袋の薄肉化も限界にきているところがある
- ・無料を希望する客があり(サービス)苦慮することがある。
- ・声掛けの徹底。その理由として、少量点数購入等でもレジ袋を必要とするお客様がいるため等

**【3-1】御社ではレジ袋の削減は必要だと思いますか？**

①必要だ 28店

②必要ではない

・必要ではないとご回答の場合その理由 ⇒

**【3-2】2012 年度・2013 年度計のレジ袋辞退率(マイバック持参率)は何パーセントですか？**

社名	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	J社
2012 年度	86.0	89.5	-	65.0	84.0	-	86.3	82.1	86.9	47.6
2013 年度	86.0	89.0	-	83.0	85.0	-	87.0	82.3	86.6	67.5

社名	K社	L社	M社	N社	O社	P社	Q社	R社	S社	T社
2012 年度	85.0	89.6	0.12	0	97.0	-	80.0	10.0	92.0	3.0
2013 年度	85.0	89.1	0.1	83.0	99.0	-	85.0	?	92.0	5.0

社名	U社	V社	W社	X社	Y社	Z社	AA社	AB社
2012 年度	30.0	88.7	-	-	23.2	-	59.0	-
2013 年度	40.0	89.6	-	30~35.0	集計中	-	57.0	-

**【3-3】有料化が開始してからこれまでの辞退率の推移について聞かせ下さい。**

①上昇傾向 5

②下降傾向 4

③横ばい 11

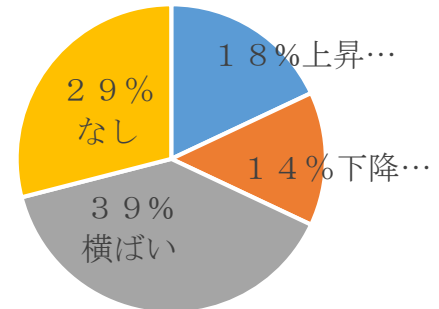
なし 8

・上昇した後横ばい

**【4】御社ではレジ袋辞退に関連して何らかの取組をおこなっていますか？**

- ・レジ袋売上すべてを北海道 CGC「みどりところの基金」へ寄付
- ・レジ袋収益金は全額、各自治体によっては贈呈式もしている。
- ・レジ袋販売金額を CGC みどりところの基金へ寄付している。
- ・1枚1円あたりで釧路市民植樹祭に苗木を植樹、エゾ山桜通算 124 本
- ・レジ袋の売上金はCGC北海道「みどりところの基金」へ全額寄付し植樹活動に役たてている。
- ・CGCみどりのところ基金への寄付
- ・レジ袋代金を商品価格をもって下げている。
- ・お客様への告知活動・レジ袋の適正サイズの使用・レジでの声かけ等
- ・特になし。
- ・エコポイントの付与
- ・有料レジ袋収益金を店舗が所在する各自治体が設置する環境保全や社会目的とした、基金などに寄付
- ・協会統一のレジ袋削減の取組み、イベントの実施など
- ・採算時レジ袋辞退につき、0.5円をコープ未来(あした)の森基金に積み立て、北海道の森づくり(植樹、団体への助成)に活用している。

**【3-3】 辞退率の推移**



**【5】さらなるレジ袋削減のために有効とお考えのことがありましたらお答えください。(複数回答)**

- |                |    |
|----------------|----|
| ①声かけをレジでする     | 13 |
| ②無料配布をやめる      | 6  |
| ③特典(スタンプ等)を増やす | 0  |
| ④店内放送          | 7  |
| ⑤マイバッグの配布      | 12 |
| ⑥各種イベントでの呼びかけ  | 6  |
| ⑦その他           |    |

レジポップ企画の、マイバック、』持参、自治体と連携した取り組み

**【6】レジ袋の削減の継続のために自治体や消費者団体それぞれに求めることは何ですか？**

(複数回答)

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| ①広報の支援                  | 16 |
| ②一緒に店舗で行うことの意義の説明やお願いなど | 10 |
| ③他の地域、事業者の具体例などの紹介      | 1  |
| ④その他(具体的に)              | 5  |

- ・マイバッグの使い方のマナー、万引き防止、誤解されない行動等の消費者マナー、モラル
- ・消費者への環境教育・啓発
- ・コンビニ業界への徹底
- ・マイバック持参
- ・意識の向上と浸透の拡大
- ・ポスター等による呼びかけ
- ・スタンドPOP等の啓発ツールの作成